

(書式 3)

## 指導方法の課題分析と授業改善策

教科名	保健体育	教科主任	梅川 恭子
-----	------	------	-------

### 1. 指導方法の課題と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画

#### <第1学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<p>&lt;新体力テストの結果より&gt; 合計得点は全国平均・東京都平均より低い水準。測定種目の中では男女とも「走り幅とび」が低い傾向にある。</p> <p>&lt;授業等の分析&gt; 1学期中は運動会・臨海学校に向けての練習が主だったため、教員主導の授業がほとんどだった。男女とも基礎・基本が身に付いていない生徒が多い。女子は周囲に合わせようとする傾向が強く、意欲に欠ける場面もある。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「体づくり運動」の単元を工夫し、日常的に運動に取り組めるようにする。</li><li>・新体力テストの結果を振り返らせ、生徒自身が自分の体力について関心をもつことができるようにする。</li><li>・自信をもって取り組むことができるようにどの単元も基礎的なことを丁寧に進めるようにする。習熟の程度に合った練習場所の設定を行う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・体育委員会を活用し、朝や昼休みなどに運動に親しめる機会を作る。</li><li>・保健体育が苦手な生徒の個別指導を充実させ、苦手意識を少なくさせるようにする。</li><li>・運動が得意な生徒には発展的な課題を出す。またグループ学習ではリーダーが集団を引っ張れるような指導をする。</li></ul>

#### <第2学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<p>&lt;新体力テストの結果より&gt; 合計得点は全国平均・東京都平均より低い水準。測定種目の中では男女とも「走り幅とび」が低い傾向にある。</p> <p>&lt;授業等の分析&gt; 授業に対する取組の自己評価が高い生徒は授業内容への関心意欲が高い。技能面での差が大きい。保健分野に苦手意識がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「体づくり運動」の単元を工夫し、日常的に運動に取り組めるようにする。</li><li>・新体力テストの結果を振り返らせ、生徒自身が自分の体力について関心をもつことができるようにする。</li><li>・グループ学習を多く取り入れる。得意な生徒、苦手な生徒それぞれが課題に合わせて自分の役割を果たせるような授業展開をする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・体育委員会を活用し、朝や昼休みなどに運動に親しめる機会を作る。</li><li>・運動が得意な生徒には発展的な課題を出す。またグループ学習ではリーダーとなる生徒に集団を引っ張る力を付けていく指導をする。</li></ul>

#### <第3学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<p>&lt;新体力テストの結果より&gt; 合計得点は全国平均・東京都平均より低い水準。測定種目の中では男女とも「走り幅とび」が低い傾向にある。</p> <p>&lt;授業等の分析&gt; 男女とも体育分野の授業に対する意欲は高い。技能面での差が大きい。苦手な生徒に対して生徒同士で支援できる体制ができていない。保健分野に苦手意識がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「体づくり運動」の単元を工夫し、日常的に運動に取り組めるようにする。</li><li>・新体力テストの結果を振り返らせ、生徒自身が自分の体力について関心をもち、日常的に運動ができるようにする。</li><li>・練習やゲームなどで、誰でも取り組むことができる内容を工夫し、楽しく運動ができるようにする。(特に女子)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・体育委員会を活用し、朝や昼休みなどに運動に親しめる機会を作る。</li></ul>